



新年のごあいさつ

鶴居村長

大石 正 行



村民の皆様、あけましておめでとうございます。ご家族お揃いで希望に満ちた輝かしい新春をお迎えのことと謹んでお慶びを申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと、突如始まったロシア連邦によるウクライナ共和国への侵攻は、国際社会に大きな衝撃を与えとともに、穀物や原油価格の上昇をもたらすなど、今なお、全世界に大きな影響を及ぼしており、国内においても、これまでにない燃油価格の高騰や電気料金金の引き上げなど、その影響は計り知れないものとなっています。

また、新型コロナウイルス感染症についても、年明けからの感染拡大に始まり、一時期は感染者数の減少

傾向が続いたものの、夏場からはこれまでにない感染者数を記録するなど、幾度となく押し寄せる感染の波により、村民の皆様も日々の暮らしに大きな不安を抱かれて過ごされているものと思います。

地域社会を苦しめる新型コロナウイルス感染症に関しては、新たな変異株も確認されるなど、今後も不安要素は漂うものの「支えあおう・鶴居びと」宣言の趣旨に村民の願いを結集させながら、引き続き、安心安全な暮らしや村内経済等の維持安定のために、努力してまいる所存であります。

また、今日の基幹産業である酪農畜産においては、昨今の畜産クラスター事業による近代設備の導入や経営規模の拡大等によって生産基盤の強化が図られている一方、牛乳・乳製品の需要減少や急激な生産資材、飼料の価格高騰で厳しい経営環境に陥っている状況にあります。

村としては、こうした急激な国際的な社会変化などによって、長い年月をかけて築き上げた生産基盤が損なわれていくことは何としても避けなければなりません。

村では、これまで釧路丹頂農協などと協調して牛乳の消費喚起や原油価格の高騰に伴う緊急経済対策支援補助事業、飼料価格高騰緊急対策補助事業等による経営支援を講じてきたところであり、今後も農業団体や

農業者、他自治体などとともに今後における農業情勢の把握や分析、農家経営の実情等を注視しながら、必要な行動や対策を検討していきたいと考えています。

一方で、地域の動きは、複数年にわたる整備によって待望の「鶴居村民スポーツ・健康増進施設（ファミスポ・アップ）」が完成し、新たなスポーツ活動や健康づくりの拠点施設として、村民皆様の積極的な利用を期待しているところです。

また、行政と民間、村民の共同による「株式会社むらづくり鶴居」が設立され、ふるさと納税支援業務やファミスポ・アップの管理運営を担うとともに、これから地元特産品の製造販売やイベントの企画運営などに努めることとして、地域に活力を生み出す事業の展開を期待される所です。

さらに、村内で新たにクラフトブルワリー事業が開始されるとともに、鶴居市街地に宿泊施設が誕生し、食や観光を通じた地域の賑わいが創出されるなど、これからの地域の活性化に寄与いただけるものと大いに期待しているところであります。

ウイズコロナ社会を迎える2023年は、長らく続いたコロナ禍による閉塞感を打開すべく、本村の強みや特質を活かしながら、村民の皆様との潤いのある暮らしを確保するとともに、酪農畜産の持続的な発展や観

光をはじめとした地域経済の好循環、医療福祉の確保、教育環境の向上のほか、村民参加の「美しい村づくり」の推進に努めていきたいと考えています。

今年の干支は「癸卯（みずのとう）」です。卯（うさぎ）は穏やかで温厚な性質であることから、「家内安全」、また、その跳躍する姿から「飛躍」、「向上」を象徴するものとして親しまれてきました。他にも「植物の成長」という意味もあり、新たなことに挑戦するには最適な年と言われています。新型コロナウイルス感染症による影響をこれまで受けてきた数年から、本年は大きく「飛躍」し、私たちの生活が「向上」する年になって欲しいと願っています。

私も、村長として任期の最終年を迎えます。現在、村が取り組んでいかなければならない事務事業は山積しておりますが、つるい未来創造プラン（第5次鶴居村総合計画）のテーマである「未来を奏でる鶴居スタイルの確立・協働による新たな時代への挑戦」の実現を目指し、全力で邁進したいと考えています。

結びに、新年が村民の皆様にとつて光り輝く飛躍の一年となりますよう、謹んで年頭のごあいさつといたします。

本年もどうぞよろしくお願いいたします。